

# 2019年度「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団

連帯社会研究交流センター

参加費無料  
要申込  
先着 30名

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々の問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第1回は、李 妍焱氏をお招きして、「中国とNPO：中国におけるNPO活動と日中交流の活動」について、ご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、会場整理の都合により参加者は先着30名様までとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

## 第1回：中国とNPO：中国におけるNPO活動と日中交流の活動

日時 2019年9月28日（土）15：00～16：40（14：30開場）

場所 法政大学大学院棟4階401教室

講師：李 妍焱 氏  
駒澤大学文学部教授

### 李 妍焱(り・やんやん)氏のプロフィール

中国吉林大学外国語学部日本語学科を卒業後1994年来日し、2000年に東北大学大学院文学研究科で博士号取得。専門は日本と中国の市民社会とソーシャル・イノベーション。2002年から駒澤大学文学部社会学科で教鞭。2010年から「日中市民社会ネットワーク」を設立し、環境教育など日中が共有しやすい分野で草の根の交流と連携に尽力。著書に『下から構築される中国——「中国的市民社会」のリアリティ』（明石書店、2018年）、『ボランティア活動の成立と展開』（ミネルヴァ書房、2002年）、『中国の市民社会』（岩波新書、2012年）、共著に『中国のNPO』（第一書林、2002年）など。



### プログラム \*来聴歓迎\*

15：00～16：10 講演  
16：10～16：40 質疑応答

～お問い合わせ～

連帯社会研究交流センター（ReCSS）

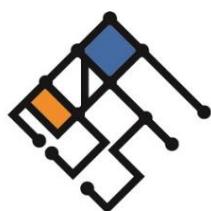
e-mail：[info@recss.jp](mailto:info@recss.jp)

URL：<http://recss.jp>

東京メトロ南北線/有楽町線「市谷駅」

5番出口下車徒歩3分





2019年度

## 「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団  
連帯社会研究交流センター

参加費無料  
要申込

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連帯大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。全6回の日程とテーマは下記のとおりですので、ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。参加申し込みは、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行いますので、同サイトの「イベント・シンポジウム」のページ<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

### 第1回：中国とNPO：中国におけるNPO活動と日中交流の活動

日時：2019年9月28日（土）15：00～16：40（14:30開場）

場所：法政大学大学院棟4階401教室

講師：李 妍焱（駒沢大学文学部教授）

参考文献：李 妍焱(2018)『下から構築される中国——「中国的市民社会」のリアリティ』（明石書店）

### 第2回：社会への投資

日時：2019年10月19日（土）15：00～16：40（14:30開場）

場所：法政大学大学院棟4階401教室

講師：三浦まり（明治学院大学社会学部准教授）

参考文献：『社会への投資—〈個人〉を支える〈つながり〉を築く』（岩波書店、2018年）

### 第3回：検証：新しいセーフティネット

日時：2019年11月30日（土）15：00～16：40（14:30開場）

場所：法政大学大学院棟4階401教室

講師：田中聡一郎（関東学院大学教授）

参考文献：駒村康平・田中聡一郎（編）『検証・新しいセーフティネット—生活困窮者自立支援制度と埼玉県アスポート事業の挑戦』（新泉社、2019年）

以上